

第4章 地域の将来像実現に向けた基本戦略と主要施策

ここでは、第3章で整理したリニモ沿線地域の将来像（3つの地域づくりの方向性、9つのまちづくりの基本方針）を実現するための地域づくりの基本戦略と主要施策を示す。

【次頁以降の共通表記】

各施策の実施時期

短期：3年程度（2011年頃）で具体化する事業

中期：目標年次2015年頃までに具体化をめざす事業

1. 愛・地球博の成果を継承・発展させるまち

基本方針1 環境共生型の暮らしが根付くまちづくり

- 基本戦略1 自然環境の保全に配慮した計画的な市街地整備
- 基本戦略2 低炭素社会を実現するまちづくり
- 基本戦略3 自然や身近な緑と親しめるまちづくり

基本方針2 文化・レク施設等の人々が賑やかに集い、楽しく交流するまちづくり

- 基本戦略4 沿線施設の連携と民間活力を活用した「にぎわい」づくり

基本方針3 新しい地球市民交流・市民参加活動が生まれるまちづくり

- 基本戦略5 地域全体で取り組む「市民力」アップ

基本方針4 環境分野等の先進的取組を通じ、課題に挑戦しつつづけるまちづくり

- 基本戦略6 大学、NPO、企業等が連携した先進的取組の場・機会の提供

環境共生型の暮らしが根付くまちづくり

基本戦略1 自然環境の保全に配慮した計画的な市街地整備

リニモ沿線は自然が豊かであり、環境をテーマにした博覧会の開催地域でもあることから、その理念を継承したまちづくりが求められる。そのため、環境と共生したライフスタイルや過度に自動車に頼らないライフスタイルを体現できる、開発と保全の調和したモデル的なまちづくりに向けて、駅を中心とした市街地の集約化を図ると同時に、里山等の周辺の自然環境の維持管理を図っていく。

主要施策1	駅を中心に概ね1km圏内の市街地整備の推進 中期 長久手古戦場駅周辺では長久手中央土地区画整理事業の着実な事業推進を図るとともに、芸大通駅、公園西駅では、駅から概ね1km圏内において、地区計画制度等を活用しつつ、計画的な住宅地整備を誘導する。とりわけ、概ね400m(徒歩5分)圏内については、宅地としての優位性が高いことから、集合住宅を含め、密度の高い市街地の形成を図るなど、徒歩で日常生活が成り立つようなコンパクトなまちづくりをめざす。 また八草駅では、市街地整備に向けた検討を進め、早期事業化を図っていく。						
	取組エリア	古戦場	芸大通	公園西	記念公園	陶磁資料	八草

主要施策2	森林・農地の適正な維持管理 中期 平成21年4月から愛知県が導入するあいち森と緑づくり税の活用等により、リニモ沿線の残すべき森林・里山林等については適正な整備保全を図っていく。また里山づくりや森林づくりのボランティア組織との連携を図りながら、地域の景観や荒廃により生物多様性が低下した里山の再生を図っていく。 海上の森では、愛知万博の理念と成果を未来に向けて確実に継承し、更に発展させていくために、海上の森を「愛知万博記念の森」として将来にわたって保全するとともに、県内の身近な森林、農地、水辺地等における自然環境の適正な保全のための取組等を促進する場として活用し、人と自然とが共生する社会の実現につなげていく。						
	取組エリア	古戦場	芸大通	公園西	記念公園	陶磁資料	八草

基本戦略2 低炭素社会を実現するまちづくり

当地域においては、今後、リニモと一体となった住宅地整備の進展が見込まれるが、愛・地球博の成果を継承・発展させるリニモ沿線に相応しい住宅地整備のあり方として、省資源・省エネルギーにより地球環境の保全に寄与する住宅供給が期待される。このため、民間の住宅メーカーと協力し、良好な住まいづくりの提案につながる新たなエコ技術の導入を促し、低炭素社会の実現に向けたまちづくりを進めていく。また、リニモを活用した移動も、この地域ならではの低炭素社会としての特徴であることから、「エコモビリティライフ」の実現により環境にやさしいまちづくりを推進する。

主要施策3	<p>エコ技術の導入 短期</p> <p>住宅開発業者やハウスメーカーとの連携のもと、国の助成制度や愛知県、沿線市町の太陽光発電施設導入促進制度等を活用しながら、クリーンエネルギーの大胆な導入を進めていく。また、あいち森と緑づくり税等を活用し、屋上・壁面緑化の促進を図る。さらには、新たなエコ技術導入についても、沿線市町で、補助制度等による支援の拡充の検討を行っていく。</p> <p>また、低炭素社会の実現に資するリニモ沿線の住宅コンセプトについて情報発信を行い、低炭素型まちづくりをテーマとして民間企業との研究交流により、自然の風や緑等、地域風土に馴染む街区設計のあり方等を検討し、その成果を宅地開発に活かしていく。</p> <p>平成22年に供用開始予定の地球市民交流センターでは、風力発電、屋上緑化等の自然エネルギーが活用される。また、「知の拠点」の先導的中核施設の整備にあたっては、太陽光発電、雨水再利用等を積極的に導入する。このほか沿線では、商業施設の立地等も見込まれるので、「愛知県建築物環境配慮制度」に基づき住宅以外についても低炭素社会に向けた施設整備を誘導していく。</p>						
	取組エリア	古戦場	芸大通	公園西	記念公園	陶磁資料	八草

主要施策4	<p>「エコモビリティライフ」の推進 短期</p> <p>自動車中心社会から脱却し、各駅と一体となったコンパクトなまちづくりを進めるため、駅隣接地にレンタサイクル拠点やパーク&ライド駐車場の整備、各駅に接続するコミュニティバス路線網等の整備・検討を進め、併せて、企業の協力を得て公共交通への通勤転換を促進するなど、自動車や公共交通、自転車、徒歩をかしこく使い分けるライフスタイルの普及、定着を推進する。</p> <p>中長期的には、県内での低炭素社会の実現に向けたリーディングエリアをめざしていく。</p>						
	取組エリア	古戦場	芸大通	公園西	記念公園	陶磁資料	八草

基本戦略3 自然や身近な緑と親しめるまちづくり

長久手町の田園バレー事業（「豊かな自然とふれあいながらも都会的で便利な生活」という新しいライフスタイル 農のある暮らし・農のあるまち）等と融合しながら、家庭菜園付き住宅の誘導、散策路等の整備を進め、自然や身近な緑と親しめるまちづくりを進めていく。

主要施策5	家庭菜園を備えるなどゆとりある住宅の整備促進 中期 都市計画マスタープランにおいて、ゆとりのある低層住宅を位置づけることにより、住宅開発業者等が行うゆとりある住宅の整備を誘導する。						
取組エリア	古戦場	芸大通	公園西	記念公園	陶磁資料	八草	海上の森

主要施策6	水と緑のネットワーク形成の推進 中期 リニモ沿線の自然資源（小河川、里山、保存樹等）を活かしたライフスタイルの提案を行うとともに、自然とふれあいながら気軽に散策ができる回遊性のあるウォーキングロードやサイクリングロード等の整備を図り、人と自然の共生を体感できる水と緑のネットワークの形成を進める。 また、海上の森では生物多様性のツアーコースを整備する。						
取組エリア	古戦場	芸大通	公園西	記念公園	陶磁資料	八草	海上の森

主要施策7	田園バレー事業の推進 短期 リニモ沿線の新しい住民の田園バレー事業（遊休農地の解消、食育の推進、市民農園、長久手農学校、平成こども塾等）への参加を促し、田園バレー構想に描かれた「豊かな自然とふれあいながらも都会的で便利な生活 農のある暮らし・農のあるまち」が実現できるまちづくりを進める。						
取組エリア	古戦場	芸大通	公園西	記念公園	陶磁資料	八草	海上の森

主要施策8	環境学習の促進 短期 愛・地球博記念公園（もりの学舎等）や、あいち海上の森センターにおいて、環境学習や自然と親しめるようなイベントの開催や COP10 関連事業、エコツアーリズムの推進により、環境に対する意識の向上を図る。						
取組エリア	古戦場	芸大通	公園西	記念公園	陶磁資料	八草	海上の森

文化・レク施設等に人々が賑やかに集い、楽しく交流するまちづくり

基本戦略4 沿線施設の連携と民間活力を活用した「にぎわい」づくり

リニモ沿線には愛知県陶磁資料館、トヨタ博物館等文化・レクリエーション施設や様々な大学が立地している。また、今後、「知の拠点」の整備、愛・地球博記念公園の整備充実も進められる。

こうした集積を活かして、最も効果的ににぎわいを創出するために、沿線集客施設、沿線の企業・大学が連携したイベントの開催や情報発信を行い、交流人口の拡大を図る。

主要施策9	愛・地球博記念公園の集客力の充実強化 中期						
	愛・地球博記念公園において、地球市民交流センターや各種スポーツ施設等の整備を進めるとともに、大観覧車等が設置されている「こどものひろば」を中心に、公園の基本計画と整合した新たな集客的要素の高い施設の誘致を図る。また、広く県民を対象とした各種イベントの開催を推進するとともに、公園内の利便性向上を図り、公園でのリピーター増加を図る。						
取組エリア	古戦場	芸大通	公園西	記念公園	陶磁資料	八草	海上の森

主要施策10	瀬戸万博記念公園(愛・パーク)の活用 短期						
	愛・地球博瀬戸会場跡地に、博覧会の理念と成果を継承するため、会場のシンボルであった直径30mの巨大皿モニュメント「天水皿 [®] (てんすいさらえぬじょう)」を中心に、展示スペースや大型複合遊具等を備えた公園が整備された。今後、せと・まるっとミュージアムの南の拠点として、近隣にあるあいち海上の森センターや愛知工業大学とも連携を図りながら多彩なイベントを実施するなど、その活用を図る。						
取組エリア	古戦場	芸大通	公園西	記念公園	陶磁資料	八草	海上の森

主要施策11	沿線施設の組織化及び沿線の一体となったイベントの実施 短期						
	トヨタ博物館、愛知県陶磁資料館、愛・地球博記念公園、長久手温泉ござらっせ、瀬戸万博記念公園(愛・パーク)等の集客施設間の連携を図るための沿線施設の組織づくりを進め、リニモを用いた沿線施設巡回スタンプラリーやウォーキング等の集客プログラムを実施していく。						
	古戦場	芸大通	公園西	記念公園	陶磁資料	八草	海上の森

主要施策12	<p>企業、大学等が参画した交流イベント等の実施 短期</p> <p>地域ゆかりの企業や沿線大学が連携し、企業と大学間の相互交流や開かれた大学としてのイメージアップを図るため、合同学園祭、スポーツ競技等の交流イベントを開催する。</p> <p>また、「知の拠点」が整備されることにより、愛知県陶磁資料館、「知の拠点」、愛・地球博記念公園といった南北軸が形成され、文化、科学技術、スポーツ・レクリエーションという複合的な交流が生まれる。こうした施設をネットワーク化するなど、当地域の特色を生かした交流を創り出していく。</p>						
	取組エリア	古戦場	芸大通	公園西	記念公園	陶磁資料	八草

新しい地球市民交流・市民参加活動が生まれるまちづくり

基本戦略5 地域全体で取り組む「市民力」アップ

愛・地球博の大きな成果の一つであるボランティアをはじめとする市民力の質的・量的充実を一層進展させるため、愛・地球博記念公園に整備される「地球市民交流センター」を新たな拠点としながら、公園マネジメント会議による県民と協働した公園の管理・運営を行うとともに、万博ボランティアをはじめとする様々な市民団体の活動プログラムが幅広く行われる環境づくりを進める。

また、一市町村一国フレンドシップの継続支援を図り、愛・地球博記念公園等でのイベント開催を促していく。

主要施策13	<p>愛・地球博記念公園における地球市民交流センターの整備 短期</p> <p>万博の理念と成果を継承し、発展させていく公園の核となる「アイデアのひろば」において、リニモの駅からデッキで直接入ることができる「地球市民交流センター」(平成22年秋供用予定)を整備する。同センターは、市民・NPO・ボランティア等が利用できる多目的室等やドーム型の体育館、大規模なイベントを開催できる広場等を整備し、市民参加と交流の拠点として活用していく。</p>						
	取組エリア	古戦場	芸大通	公園西	記念公園	陶磁資料	八草

主要施策14	<p>一市町村一國フレンドシップ、万博ボランティアの継承・充実 短期</p> <p>万博において県内市町村が、地域の特性を活かした独創的な交流事業を地域主導で展開した「一市町村一國フレンドシップ」の継承を図る場として、愛・地球博記念公園の様々な施設利用を促していく。</p> <p>また、万博会場内での誘導、外国人への通訳、福祉活動等で活躍したボランティアや団体に対して、COP10の関連イベントへの参加促進や企画・運営面での連携を図っていく。</p>						
取組エリア	古戦場	芸大通	公園西	記念公園	陶磁資料	八草	海上の森

環境分野等の先進的取組を通じ、課題に挑戦しつづけるまちづくり

基本戦略6 大学、NPO、企業等が連携した先進的取組の場・機会の提供

沿線の大学、「知の拠点」、愛知県陶磁資料館、豊田中央研究所等の産学行政の研究機関が連携し、持続可能な社会の実現に向けた社会実験を行うなど、先進的取組のモデル地区として沿線地域を位置づけ、様々な取組成果の情報発信をめざす。

主要施策15	<p>エコマネー活動・ゼロエミッションの取組 短期</p> <p>エコマネーの発展的な展開（例：ICカードを利用したエコマネー活動、産業活動と連携したエコマネー活動等）を図る社会実験の場として沿線を位置づけ、大学、企業、市民の連携のもと、様々な取組が実施される地域づくりを進める。さらに今後沿線で展開される都市活動、産業活動において、ゼロエミッション（リサイクル、リユース等）の取組を先導する場として位置づけ、社会実験やイベント開催等の地域一体となった支援を図る。</p>						
取組エリア	古戦場	芸大通	公園西	記念公園	陶磁資料	八草	海上の森

主要施策4	「エコモビリティライフ」の推進 短期 （再掲）						
-------	--------------------------------	--	--	--	--	--	--

主要施策16	<p>IT技術を活用した交通情報等の共有 中期</p> <p>この地域全体をリニモを軸とする大きなコミュニティとして捉え、市町の区域を越えた、この地域独自の情報を共有化したり、地域外から訪れる人々への情報発信や質の高いサービスを供給する手段として、WEBによるリニモビ（リニモ・バス乗り継ぎマップ、リニモ周辺施設紹介等）の充実を図る。また、オンデマンドバスの社会実験等を検討する。</p>						
取組エリア	古戦場	芸大通	公園西	記念公園	陶磁資料	八草	海上の森

2. 愛知の新たな飛躍をリードする研究学園地区

基本方針5 最先端の科学技術の共同研究や実証実験が行われ、世界に発信するまちづくり

- 基本戦略7 科学技術の創造拠点の形成
- 基本戦略8 技術先端型企业等の研究開発機能の誘導

基本方針6 地域内外の大学・研究機関の相互連携、研究交流が盛んなまちづくり

- 基本戦略9 学生や研究者が活動しやすい環境づくり
- 基本戦略10 大学・研究機関による地域連携活動の展開

最先端の科学技術の共同研究や実証実験が行われ、世界に発信するまちづくり

基本戦略7 科学技術の創造拠点の形成

愛知県には、自動車産業をはじめとしたモノづくり産業の集積があり、産業技術の世界的な中核を担う地域となっている。しかし、中国をはじめ新興国の急激な経済発展等を背景に、愛知県のモノづくりを取り巻く経済環境が厳しさを増すものと考えられる。そこで、愛知県が、今後もモノづくり産業の中核拠点として世界をリードしていくために、次世代のモノづくり技術の創造・発信の拠点形成を図る。とりわけ、今後のモノづくり産業のイノベーションを支える基盤となるナノテクノロジーを核に、IT 技術、バイオ技術を融合した分野において、大学の持つ基礎的な研究成果を産業界へと橋渡しする研究プロジェクトに地域をあげて取り組み、環境・エネルギー分野や健康長寿分野等に貢献する製造システム、付加価値の高い製品・素材を生み出していく。

主要施策17	<p>「知の拠点」の整備(先導的中核施設、中部シンクロトン光利用施設(仮称)等) 短期</p> <p>愛知県が、「知の拠点」において、ナノテクを中心とした共同研究開発施設となる先導的中核施設を整備するとともに、中堅・中小企業やベンチャー企業への技術的支援を行う。また、産学行政が共同で整備する中部シンクロトン光利用施設(仮称)を活用したナノテクの計測・解析を行い、研究成果の幅広い分野での産業利用を図る。</p> <p>また、「知の拠点」と、愛知県立大学、愛知工業大学など地域内の大学・研究機関との連携を促進する。</p>						
取組エリア	古戦場	芸大通	公園西	記念公園	陶磁資料	八草	海上の森

主要施策18	国機関等の研究施設の早期誘致 中期 先導的中核施設、中部シンクロトン光利用施設（仮称）に続く、先端的な研究施設として、国等の研究機関のサテライト研究部門の誘導や、新規事業化を促進支援していくためのインキュベーション施設等の提案・誘導を早期に取り組み、「知の拠点」の研究開発機能の強化を図り、愛知県のモノづくり産業の中枢拠点の形成を図る。						
取組エリア	古戦場	芸大通	公園西	記念公園	陶磁資料	八草	海上の森

基本戦略8 技術先端型企业等の研究開発機能の誘導

陶磁資料館南駅周辺において整備が進められている「知の拠点」を中核として、愛知県としての学術研究・技術開発機能の拠点性をより高めるために、民間の研究開発施設のさらなる立地と連携強化が求められる。そのため、民間による技術先端型企业の研究開発施設等の受け皿となる産業集積用地の整備を図る。

主要施策19	民間企業の研究開発施設など産業集積用地の整備 中期 八草駅周辺（東側区域）において、地区計画制度等を活用しつつ、民間企業の研究開発施設等の立地誘導のための産業集積用地の整備を図る。						
取組エリア	古戦場	芸大通	公園西	記念公園	陶磁資料	八草	海上の森

地域内外の大学・研究機関の相互連携、研究交流が盛んなまちづくり

基本戦略9 学生や研究者が活動しやすい環境づくり

リニモ沿線地域には、様々な大学や研究機関が集積しているが、学生や研究者の活動を促進することが施設自体の質を高め、地域づくりの強みとなってくる。そのため、各大学や研究機関の相互の交流・連携を促す仕組みづくりや、学生や研究者が研究・創作活動を行いやすい環境整備を図る。

主要施策20	駅周辺での芸術活動の場の整備の推進 中期 愛知県立芸術大学の玄関口にあたる芸大通駅周辺においては、芸術家や芸術を学ぶ学生らが、ストリートライブ、各種アート(音楽、美術、映像等)創作活動の成果を披露できる場を整備し、芸術・文化ゾーンの玄関口にふさわしい空間形成を図る。 一方、古戦場駅周辺においても、近隣大学との連携により、芸術・文化を通じた賑わいの創出を図る。						
取組エリア	古戦場	芸大通	公園西	記念公園	陶磁資料	八草	海上の森

<p>主要施策21</p>	<p>愛知県農業総合試験場の機能強化 中期</p> <p>芸大通駅 1km 圏に位置する愛知県農業総合試験場においては、重要性の増す食料問題や食の安全等の課題に取り組むため、試験研究機能の充実・強化を図る。また、大学や他の研究機関とも研究交流の充実を図る。</p> <p><機能強化の例></p> <p>生物多様性の保全に貢献する持続的な農業生産のための研究開発</p> <p>肥料・農薬・重金属等の環境負荷物質低減技術や病害虫に抵抗性を持つ品種の開発、天敵、微生物を活用した農薬に頼らない農業生産技術の開発等</p> <p>地球温暖化に対応した食料生産を向上させる農業生産技術の研究開発</p> <p>高温でも品質を低下させない生産技術や高温耐性を有する品種の開発、CO2 を排出しない施設園芸技術の開発等</p> <p>次世代の農業をリードする革新的技術の研究開発</p> <p>遠隔操作やロボット等を活用した超省力的で収量を多くする生産技術の開発等</p>						
<p>取組エリア</p>	<p>古戦場</p>	<p>芸大通</p>	<p>公園西</p>	<p>記念公園</p>	<p>陶磁資料</p>	<p>八草</p>	<p>海上の森</p>

<p>主要施策22</p>	<p>愛知県立芸術大学の充実 短期</p> <p>厳しさを増す大学間競争の中で、魅力ある芸術大学づくりを進めるため、大学院に博士後期課程（美術研究科・音楽研究科）を開設する。</p>						
<p>取組エリア</p>	<p>古戦場</p>	<p>芸大通</p>	<p>公園西</p>	<p>記念公園</p>	<p>陶磁資料</p>	<p>八草</p>	<p>海上の森</p>

<p>主要施策23</p>	<p>沿線大学のコンソーシアム形成などによる連携強化 短期</p> <p>沿線大学の参画を得て、沿線地域づくりに取り組む大学コンソーシアムを設立し、愛・地球博記念公園内の地球市民交流センターや長久手中央地区の都市づくりセンター*などにおける活動を通して、参画大学の連携による地域づくりを企画、推進していく。</p> <p><コンソーシアムの活動例></p> <p>共同イベント(合同による学園祭、進学相談会、就職セミナー等)</p> <p>エクステンションプログラム(公開講座、市民研修、住民への大学開放等)</p> <p>参加大学の図書館と市町の図書館との連携</p> <p>インターンシップ事業支援</p> <p>地域貢献、まちづくり参加の教員・学生への支援</p> <p>(小中学校教育支援、国際交流事業、地域エコ活動、沿線ミニコミ誌・情報HP作成、地域づくりの政策提言)</p> <p>リニモ沿線のイベント企画、リニモ通学促進プログラム等</p>						
<p>取組エリア</p>	<p>古戦場</p>	<p>芸大通</p>	<p>公園西</p>	<p>記念公園</p>	<p>陶磁資料</p>	<p>八草</p>	<p>海上の森</p>

*都市づくりセンター：長久手古戦場駅前に設置される大学連携拠点施設

基本戦略10 大学・研究機関による地域連携活動の展開

地域力を高めるために、リニモ沿線地域の様々な大学や研究機関の集積の強みを活かすことが求められる。そのため、各大学や研究機関が、科学技術の普及・啓発に向けた取組を展開し、将来の愛知のモノづくり産業を担う人材育成を図る。

また、各大学や研究機関が様々な地域貢献活動の充実を図ることにより、知的資源の地域づくりへの活用を図る。

主要施策24	<p>青少年などへの科学技術の啓発活動の推進 短期</p> <p>愛知県立大学、愛知工業大学や「知の拠点」、愛知県農業総合試験場など、リニモ沿線に立地する大学や研究機関により、青少年などを対象として、研究開発の現場に触れる体験イベントや施設開放、人材育成プログラム等を推進する。</p> <p>特に「知の拠点」では、実験装置に触れながら科学技術の原理の理解ができるような体験型の展示物を設置するほか、子どもたちの科学技術に対する理解を増進する全国的・国際的な活動を実施する。</p> <p>また、施設外でもサイエンスカフェや研究者の出前講座等により、科学技術への理解と興味を深めていく。</p>						
	取組エリア	古戦場	芸大通	公園西	記念公園	陶磁資料	八草

主要施策25	<p>大学による地域貢献活動の充実 短期</p> <p>愛・地球博記念公園内の地球市民交流センターをはじめ、各駅周辺において、沿線大学によるコンソーシアムが中心となった共同イベント(野外コンサート等)のほか、沿線の各大学や沿線以外の大学によるエクステンションプログラム(市民講座、大学開放、演奏会等)、地域づくりへの提言など、様々な地域貢献活動を展開する。</p>						
	取組エリア	古戦場	芸大通	公園西	記念公園	陶磁資料	八草

3. リニモでつながる「コンパクト」なまち

基本方針7 駅ごとに特色ある都市機能が集積したまちづくり

基本戦略11 各駅の機能・役割に応じた都市的土地利用の誘導

基本方針8 駅と背後圏が有機的に連携したまちづくり

基本戦略12 周辺施設とのネットワークの強化

基本方針9 活発なコミュニティにより持続的に発展するまちづくり

基本戦略13 沿線の演出などによるアイデンティティの形成

基本戦略14 新しいライフスタイルを支えるコミュニティの形成

駅ごとに特色ある都市機能が集積したまちづくり

基本戦略11 各駅の機能・役割に応じた都市的土地利用の誘導

沿線全体を一つのコミュニティとしてとらえ、リニモを有効活用していくには、各駅の異なる立地条件をうまく活かして、様々なライフスタイルに対応したまちづくりが求められる。

そのため、駅周辺ごとの特徴や市場ニーズ等を踏まえ、土地区画整理事業や地区計画制度等を活用した面的な市街地整備により、住宅地や商業機能、研究開発機能の立地誘導を図る。

<p>主要施策26</p>	<p>長久手古戦場駅、公園西駅、八草駅周辺への集約的な都市的土地利用の誘導 中期</p> <p>立地条件等から住宅地等としての開発が見込まれる長久手古戦場駅、公園西駅、八草駅周辺については、土地区画整理事業や地区計画制度等を活用しつつ、市街地整備を図る。</p>						
<p>取組エリア</p>	<p>古戦場</p>	<p>芸大通</p>	<p>公園西</p>	<p>記念公園</p>	<p>陶磁資料</p>	<p>八草</p>	<p>海上の森</p>

主要施策27	<p>駅周辺への利便施設、コミュニティ・公共公益施設の配置 中期</p> <p>住宅地整備や商業機能の誘致等の都市的土地利用を誘導する長久手古戦場駅、八草駅周辺については、日常生活における利便施設（食料品店、飲食店等）の誘導を図るとともに、住民が集うことができるコミュニティ施設（集会所、公民館、住民サロン等）や公共公益施設（医療、保育、行政サービス窓口等）を配置する。</p> <p>また、そうした各駅周辺の施設に出かける場合、徒歩、自転車での移動だけでなく、近距離のリニモ利用も促進できるような仕組みを検討し、リニモの積極的活用を定着させる。</p>						
	取組エリア	古戦場	芸大通	公園西	記念公園	陶磁資料	八草

駅と背後圏が有機的に連携したまちづくり

基本戦略12 周辺施設とのネットワークの強化

リニモ沿線においては、背後圏に教育・研究施設、文化・レクリエーション施設が多く立地しているほか、新たに住宅地の開発が行われている。リニモの機能を充分活かすためにも、これらの周辺施設や開発事業との連携が求められる。そのため、現在の交通機関の維持・拡充、道路整備等、リニモ各駅へのアクセス性を向上させることにより、背後圏とのネットワークの強化を図る。

主要施策28	<p>パーク＆ライド駐車場の整備・促進 短期</p> <p>自動車中心社会から脱却し、環境にやさしい交通行動を軸とする新しいライフスタイル（エコモビリティライフ）の実現を目指して、取組を一層推進する必要がある。このため、長久手古戦場駅周辺、公園西駅周辺、愛・地球博記念公園駅周辺、八草駅周辺におけるパーク＆ライド駐車場の整備・促進を図ることで、周辺の住宅地等から駅までのアクセス性を向上させ、環境に配慮しつつ、リニモの機能も活かしたコンパクトなまちづくりを進めていく。</p> <p>特に、毎日利用する通勤者に対しては、利便性の向上に加え、駐車場の利用料を低廉にするなどにより利用促進を図っていく。</p> <p>また、パーク＆ライドは駅に近いことが条件となるが、駅前には住宅としても優位性の高い場所であることから、駐車場の立体化等、駅周辺の状況に合わせた整備・促進を図る。</p>						
	取組エリア	古戦場	芸大通	公園西	記念公園	陶磁資料	八草

主要施策29	<p>背後圏をつなぐアクセス道路の整備 中期</p> <p>長久手古戦場駅における県道瀬戸大府東海線、八草駅における県道広久手八草線の整備を推進し、周辺市町から各駅へのアクセス性を向上させる。</p> <p>また、周辺施設や住宅地等から各駅までのアクセス道路については、利用者や住民へのニーズを踏まえ、必要な整備を行う。</p>						
取組エリア	古戦場	芸大通	公園西	記念公園	陶磁資料	八草	海上の森

主要施策30	<p>テーマ性のあるプロムナードの形成 中期</p> <p>芸大通駅、陶磁資料館南駅においては、愛知県立芸術大学、トヨタ博物館や、愛知県陶磁資料館のそれぞれのテーマに合わせ、オブジェの設置、イベント開催（例：瀬戸物市）等により回遊性の向上に資する各施設と最寄駅をつなぐプロムナード(歩道)を形成する。</p>						
取組エリア	古戦場	芸大通	公園西	記念公園	陶磁資料	八草	海上の森

主要施策31	<p>フィーダー交通の充実 短期</p> <p>長久手古戦場駅や八草駅における、行政区域を越えたコミュニティバスの運行や、サンヒル上之山、三ヶ峯住宅団地等の周辺の住宅、名古屋商科大学、南山大学等の周辺の大学と最寄のリニモの駅とのフィーダー交通の充実を図り、「エコモビリティライフ」を推進する。</p>						
取組エリア	古戦場	芸大通	公園西	記念公園	陶磁資料	八草	海上の森

主要施策32	<p>せと・まるっとミュージアム構想を踏まえた連携の推進 短期</p> <p>瀬戸市では、歴史的資源や文化施設等に光をあて、まち全体でのおもてなし、観光客の回遊を図る「せと・まるっとミュージアム構想」を推進している。</p> <p>陶磁資料館南駅、八草駅周辺等においては、関連する施設も多く、来訪客の回遊を促すためにも、構想を踏まえた連携の推進を図っていく。</p> <p>とりわけ、この地域は陶磁器産業の盛んな地域でもことから、瀬戸市内にある様々な陶磁器関係の施設と愛知県陶磁資料館との連携により、周辺地域との回遊性を高めていく。</p>						
取組エリア	古戦場	芸大通	公園西	記念公園	陶磁資料	八草	海上の森

活発なコミュニティにより持続的に発展するまちづくり

基本戦略13 沿線の演出などによるアイデンティティの形成

リニモ沿線地域が新たな住民を迎えて発展していくためには、住みたいと思わせる地域の魅力の創出が求められる。また、住民自身が自主的に、より良いまちづくりをしていけるような仕組みが必要である。

そのために、沿線全体における様々なイベントの開催や、地域づくりプラットフォームの構築等によるエリアマネジメントを行うことで、「行きたくなるような」「住みたくなるような」まちづくりを誘導し、ブランド力のある持続可能な沿線づくりを図っていく。

主要施策33	シーズンイベントの開催 短期						
	沿線全体において、愛知県立芸術大学や愛知県陶磁資料館を拠点とした芸術祭や、愛知県農業総合試験場における公開デーや愛・地球博記念公園における万博記念イベント、年末にかけての電飾による飾りつけ等、周辺施設の特色を活かしながら、沿線住民が協力、参加できるシーズン毎のイベントを開催する。						
取組エリア	古戦場	芸大通	公園西	記念公園	陶磁資料	八草	海上の森

主要施策34	地域づくりのプラットフォーム構築などによるエリアマネジメント 中期						
	沿線全体において、沿線住民、地権者、開発業者、周辺施設、関連自治体等が魅力的な沿線地域づくりに向けて話し合いを行う組織（プラットフォーム）を構築し、開発段階においては、まちとしてのブランド形成、街区ごとのデザイン、景観など魅力的な街並みの創出に向けた協議を、また、まちを熟成させる段階においては、整備後のまちの魅力を高めるイベント開催、広報宣伝、エコ活動等についてまちの成長に合わせて発展するエリアマネジメントのプログラムを展開する。						
取組エリア	古戦場	芸大通	公園西	記念公園	陶磁資料	八草	海上の森

基本戦略14 新しいライフスタイルを支えるコミュニティの形成

リニモ沿線においては、新たな開発が検討されており、新たなまちとして、今後、短期間に多くの住民の流入が見込まれることから、特定の世代に偏らない持続可能なコミュニティの形成が求められる。

そのためには、開発に当たり世代のバランスに配慮するとともに、整備後は沿線住民のコミュニティ活動等の情報を共有できる仕組みづくりを図っていく。

<p>主要施策35</p>	<p>世代混在住宅の誘導 中期</p> <p>長久手古戦場駅、公園西駅、八草駅周辺で主に推進する住宅開発にあたっては、間取り、面積、価格帯等を混在させることにより、様々な世代の入居が可能となる住宅整備の誘導を図る。</p>						
<p>取組エリア</p>	<p>古戦場</p>	<p>芸大通</p>	<p>公園西</p>	<p>記念公園</p>	<p>陶磁資料</p>	<p>八草</p>	<p>海上の森</p>

<p>主要施策36</p>	<p>ホームページ、ミニコミ誌など沿線情報の一体的提供 短期</p> <p>沿線全体において、沿線住民が行っている活動やエリアマネジメントの活動等の情報が入手できるホームページの開設、ミニコミ誌の刊行により、住民同士の活動への参加のきっかけ、出会いの機会を提供するとともに、沿線全体での地域情報の共有化を図る。</p>						
<p>取組エリア</p>	<p>古戦場</p>	<p>芸大通</p>	<p>公園西</p>	<p>記念公園</p>	<p>陶磁資料</p>	<p>八草</p>	<p>海上の森</p>

地域の将来像実現に向けた基本戦略及び主要施策一覧

将来像	基本方針	基本戦略
愛・地球博の成果を継承・発展させるまち	1. 環境共生型の暮らしが根付くまちづくり	1. 自然環境の保全に配慮した計画的な市街地整備 2. 低炭素社会を実現するまちづくり 3. 自然や身近な緑と親しめるまちづくり
	2. 文化・レク施設等に人々が賑やかに集い、楽しく交流するまちづくり	4. 沿線施設の連携と民間活力を活用した「にぎわい」づくり
	3. 新しい地球市民交流・市民参加活動が生まれるまちづくり	5. 地域全体で取り組む「市民力」アップ
	4. 環境分野等の先進的取組を通じ、課題に挑戦しつづけるまちづくり	6. 大学、NPO、企業等が連携した先進的取組の場・機会の提供
	愛知の新たな飛躍をリードする研究学園地区	5. 最先端の科学技術の共同研究や実証実験が行われ、世界に発信するまちづくり
6. 地域内外の大学・研究機関の相互連携、研究交流が盛んなまちづくり		9. 学生や研究者が活動しやすい環境づくり
		10. 大学・研究機関による地域連携活動の展開
リノモでつながる「コンパクト」なまち		7. 駅ごとに特色ある都市機能が集積したまちづくり
	8. 駅と背後圏が有機的に連携したまちづくり	12. 周辺施設とのネットワークの強化
	9. 活発なコミュニティにより持続的に発展するまちづくり	13. 沿線の演出等によるアイデンティティの形成 14. 新しいライフスタイルを支えるコミュニティの形成

主要施策	主要施策の主な取組エリア						
	古戦場	芸大通	公園西	記念公園	陶磁資料	八草	海上の森
1. 中 駅を中心に概ね 1km 圏内の市街地整備の推進 2. 中 森林・農地の適正な維持管理(あいち森と緑づくり税活用による里山林整備等)							
3. 短 エコ技術の導入 (太陽光発電、屋上・壁面の緑化等) 4. 短 「エコモビリティライフ」の推進 (通勤転換、パーク&ライド等)							
5. 中 家庭菜園を備えるなどゆとりある住宅の整備促進 6. 中 水と緑のネットワーク形成の推進(ウォーキングロード等の充実) 7. 短 田園バレー事業の推進 (地産地消の推進等) 8. 短 環境学習の促進							
9. 中 愛・地球博記念公園の集客力の充実強化 10. 短 瀬戸万博記念公園 (愛・パーク) の活用 11. 短 沿線施設の組織化及び沿線の一体となったイベントの実施 12. 短 企業、大学等が参画した交流イベント等の実施(合同学園祭等)							
13. 短 愛・地球博記念公園における地球市民交流センターの整備 14. 短 一市町村一国フレンドシップ、万博ボランティアの継承・充実							
15. 短 エコマネー活動・ゼロエミッションの取組 4. 短 「エコモビリティライフ」の推進 (通勤転換、パーク&ライド等)(再掲) 16. 中 IT 技術を活用した交通情報等の共有 (WEB によるリコモビ等)							
17. 短 「知の拠点」の整備 (先導的中核施設、中部シンクロトロン光利用施設 (仮称) 等) 18. 中 国機関等の研究施設の早期誘致							
19. 中 民間企業の研究開発施設など産業集積用地の整備							
20. 中 駅周辺での芸術活動の場の整備の推進 21. 中 愛知県農業総合試験場の機能強化 (研究環境の整備、研究交流の充実等) 22. 短 愛知県立芸術大学の充実 23. 短 沿線大学のコンソーシアム形成等による連携強化							
24. 短 青少年などへの科学技術の啓発活動の推進 (サイエンスカフェ等) 25. 短 大学による地域貢献活動の充実(大学による市民講座、生涯学習の提供等)							
26. 中 長久手古戦場駅、公園西駅、八草駅周辺への集約的な都市的土地利用の誘導 27. 中 駅周辺への利便施設、コミュニティ・公共公益施設の配置							
28. 短 パーク&ライド駐車場の整備・促進 29. 中 背後圏をつなぐアクセス道路の整備 30. 中 テーマ性のあるプロムナードの形成(沿線施設へのプロムナード整備) 31. 短 フィーダー交通の充実 (周辺住宅団地との連携強化等) 32. 短 せと・まるっとミュージアム構想を踏まえた連携の推進 (瀬戸蔵と愛知県陶磁資料館の回遊等)							
33. 短 シーズンイベントの開催(芸術、電飾等を利用した地域の演出) 34. 中 地域づくりのプラットフォーム構築等によるエリアマネジメント							
35. 中 世代混在住宅の誘導 36. 短 ホームページ、ミニコミ誌など沿線情報の一体的提供							

(注) 主要施策のうち、ゴシック太字はハード施策。ハード施策・ソフト施策の順に、実施時期を短中 で整理 (短 : 3 年程度 (2011 年頃) で具体化する事業、中 : 目標年次 2015 年頃までに具体化をめざす事業)

第5章 各駅周辺及び海上の森の整備方向

ここでは、第3章で整理したりニモ各駅周辺及び海上の森のあり方、第4章で整理した地域の将来像実現に向けた主要施策を踏まえ、地区ごとに、土地利用の方向性を示すとともに、展開する主要施策について、面的整備事業等、導入施策、主なソフト的取組に分けて示す。

【次頁以降の共通表記】

各施策の実施時期

短期：3年程度（2011年頃）で具体化する事業

中期：目標年次2015年頃までに具体化をめざす事業

長期：2016年以降に具体化をめざす事業

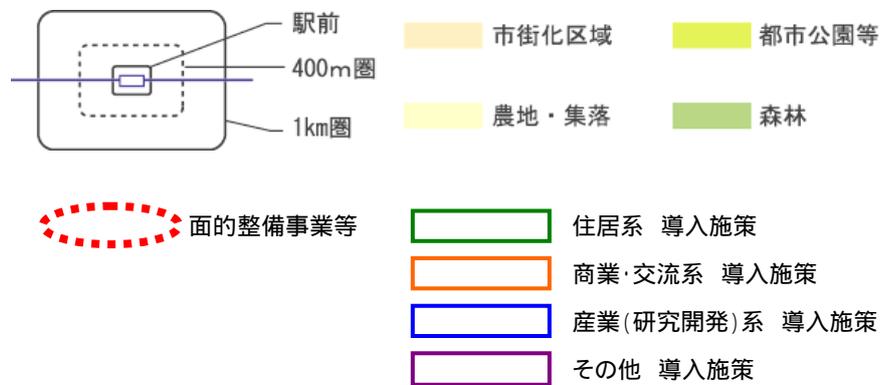
各施策の展開場所

[駅前地区]：駅に近接し、利便施設等も含めた多様な機能の集積を図るエリア

[400m圏]：駅から400mの範囲であり、徒歩5分圏で、住宅立地の優位性の高いエリア

[1km圏]：駅から1kmの範囲で、住宅系開発地の対象とするエリア

市街地整備・導入施策の展開イメージ



1. 長久手古戦場駅周辺

土地利用の方向性

駅から400m圏を中心に土地区画整理事業を実施し、既成市街地と連続する良好で特色ある住宅地への転換を図るとともに、その周辺においても駅からの連続性を持った新たな市街地整備を誘導する。

駅前地区においては、住宅・商業・コミュニティ・大学連携等の関連施設から成る複合開発を誘導し、長久手の新しいシンボル地区に相応しい魅力ある空間形成を図る。

駅背後圏とのネットワークを強化するため、関連道路整備やフィーダー交通の充実に向けた施設整備を進める。

【地域整備の留意点】

- ・既存の学校や商業施設の利用も可能であり、住宅地としてのポテンシャルは高い。

【住環境形成上の留意点】

- ・無秩序な土地利用の防止（建築協定、地区計画等）
- ・緑化の推進（緑化協定、地区計画等）

【主要施策】

面的整備事業等

長久手中央土地区画整理事業 **中期** [駅前地区・400m圏]

土地区画整理事業等の手法による市街地整備の誘導(長久手町長湫地区) **長期** [1km圏]

土地区画整理事業等の手法による市街地整備の誘導(日進市北新地区) **長期** [1km圏]

導入施策

住居系

世代混在住宅の誘導 **中期** [400m圏・1km圏]

エコ技術の導入(住宅用太陽光発電、屋上・壁面の緑化等) **短期**

[駅前地区・400m圏・1km圏]

商業・交流系

駅周辺での芸術活動の場の整備の推進 **中期** [駅前地区]

駅周辺への利便施設、コミュニティ・公共公益施設の配置(リニモテラス・都市づくりセンター)

中期 [駅前地区]

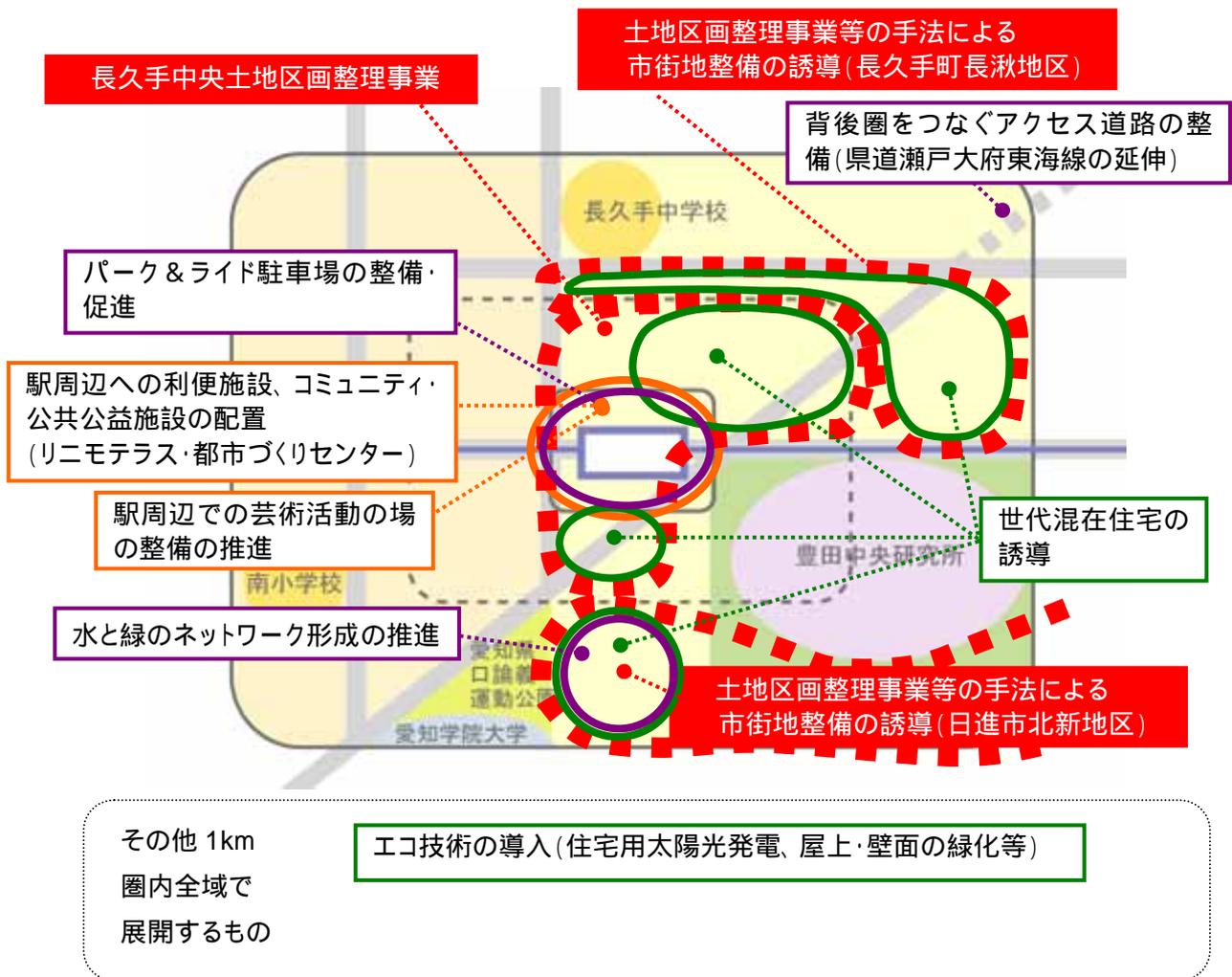
その他

水と緑のネットワーク形成の推進 **中期** [1km圏]

パーク&ライド駐車場の整備・促進 **短期** [駅前地区]

背後圏をつなぐアクセス道路の整備(県道瀬戸大府東海線の延伸) **中期** [1km圏]

市街地整備・導入施策の展開イメージ



主なソフト的取組

- 「エコモビリティライフ」の推進(通勤転換、パーク＆ライド等) 短期
- 沿線施設の組織化及び沿線の一体となったイベントの実施 短期
- 企業、大学等が参画した交流イベント等の実施(合同学園祭等) 短期
- IT技術を活用した交通情報等の共有(WEBによるリモナビ等) 中期
- 沿線大学のコンソーシアム形成等による連携強化(都市づくりセンター) 短期
- 大学による地域貢献活動の充実(大学による市民講座、生涯学習の提供等) 短期
- フィーダー交通の充実(日進方面とのアクセス強化等) 短期
- シーズンイベントの開催(電飾等を利用した地域の演出) 短期
- 地域づくりのプラットフォーム構築等によるエリアマネジメント 中期
- ホームページ、ミニコミ誌など沿線情報の一体的提供 短期

2. 芸大通駅周辺

土地利用の方向性

不整形な街区や既存集落の存在により大規模な開発は難しいが、地区計画等の活用により、駅から1km圏内の開発適地を有効活用した住宅地の形成を図る。

駅南西部において長久手古戦場駅周辺から続く新たな市街地整備を誘導する。

愛知県立芸術大学、トヨタ博物館、愛知県農業総合試験場の玄関口であることから、駅前地区を中心に学術・文化が身近に感じられる空間形成を図る。

駅から1km圏の北東部にある農地等の適正な維持・管理を図る。

【地域整備の留意点】

- ・当駅に近接するエリアは、不整形な土地が多く、各種施設や既存集落も存在することから、地域の条件に応じた住宅の整備が必要である。

【住環境形成上の留意点】

- ・無秩序な土地利用の防止（建築協定、地区計画等）
- ・景観コントロール（デザインガイドライン等）
- ・緑化の推進（緑化協定、地区計画等）

【主要施策】

面的整備事業等

地区計画等による住宅地整備の誘導 **中期** [駅前地区・400m圏・1km圏]

土地区画整理事業等の手法による市街地整備の誘導(日進市北新地区) **長期** [1km圏]

導入施策

住居系

エコ技術の導入(住宅用太陽光発電、屋上・壁面の緑化等) **短期**

[駅前地区・400m圏・1km圏]

商業・交流系

駅周辺での芸術活動の場の整備の推進 **中期** [駅前地区]

その他

森林・農地の適正な維持管理(長久手町前熊地区) **中期** [400m圏・1km圏]

水と緑のネットワーク形成の推進 **中期** [1km圏]

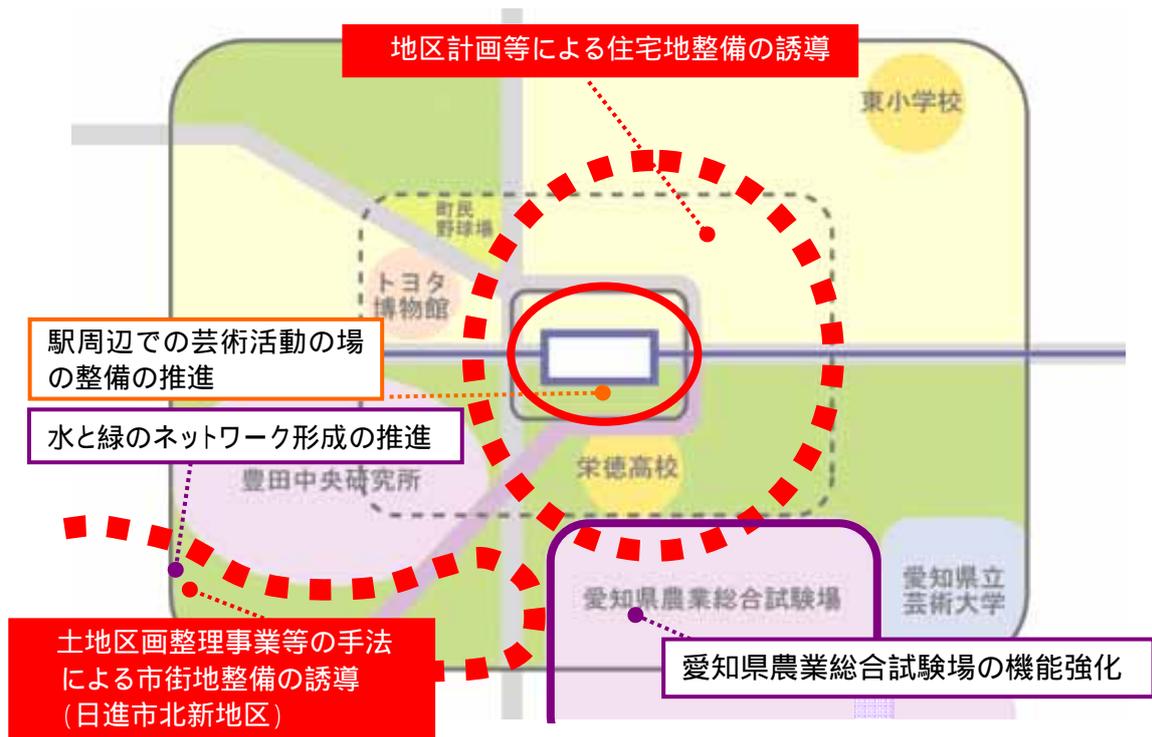
愛知県農業総合試験場の機能強化 **中期** [1km圏]

テーマ性のあるプロムナードの形成

(愛知県立芸術大学やトヨタ博物館へのプロムナード整備) **中期**

[駅前地区・400m圏・1km圏]

市街地整備・導入施策の展開イメージ



- その他 1km
圏内全域で
展開するもの
- 森林・農地の適正な維持管理(長久手町前熊地区)
 - テーマ性のあるプロムナードの形成
(愛知県立芸術大学やトヨタ博物館へのプロムナード整備)
 - エコ技術の導入(住宅用太陽光発電、屋上・壁面の緑化等)

主なソフト的取組

- 「エコモビリティライフ」の推進(通勤転換) 短期
- 田園バレー事業の推進(遊休農地の解消等) 短期
- 沿線施設の組織化及び沿線の一体となったイベントの実施 短期
- 沿線大学のコンソーシアム形成等による連携強化 短期
- 愛知県立芸術大学の充実 短期
- 青少年などへの科学技術の啓発活動の推進(愛知県農業総合試験場等) 短期
- 大学による地域貢献活動の充実(大学による市民講座、生涯学習の提供等) 短期
- せと・まるっとミュージアム構想を踏まえた連携の推進
(瀬戸蔵とトヨタ博物館の回遊等) 短期
- シーズンイベントの開催
(トヨタ博物館イルミネーション、愛知県農業総合試験場公開デー) 短期

3. 公園西駅周辺

土地利用の方向性

駅から1km圏において面的住宅開発を展開し、愛・地球博記念公園に隣接する良好で特色ある住宅地への転換を図る。

駅前地区では、住宅や利便施設等から成る複合開発を誘導し、沿線拠点に相応しい拠点形成を図る。

また、駅の背後圏の利用に向けたパーク＆ライド駐車場の整備・促進を図り、「エコモビリティライフ」を推進する。

【地域整備の留意点】

- ・既成市街地から若干離れているので、住宅地として整備するためには、食料品店等の生活利便施設の立地が必要となる。

【住環境形成上の留意点】

- ・無秩序な土地利用の防止（建築協定、地区計画等）
- ・菜園と一体となった住宅整備の検討

【主要施策】

面的整備事業等

地区計画等による住宅地整備の誘導 **短期** [駅前地区・400m圏・1km圏]

導入施策

住居系

エコ技術の導入(住宅用太陽光発電、屋上・壁面の緑化等) **短期**

[駅前地区・400m圏・1km圏]

家庭菜園を備えるなどゆとりある住宅の整備促進 **中期** [1km圏]

世代混在住宅の誘導 **中期** [400m圏・1km圏]

商業・交流系

駅周辺への利便施設、コミュニティ・公益施設の配置(利便施設のある住空間) **中期**

[駅前地区]

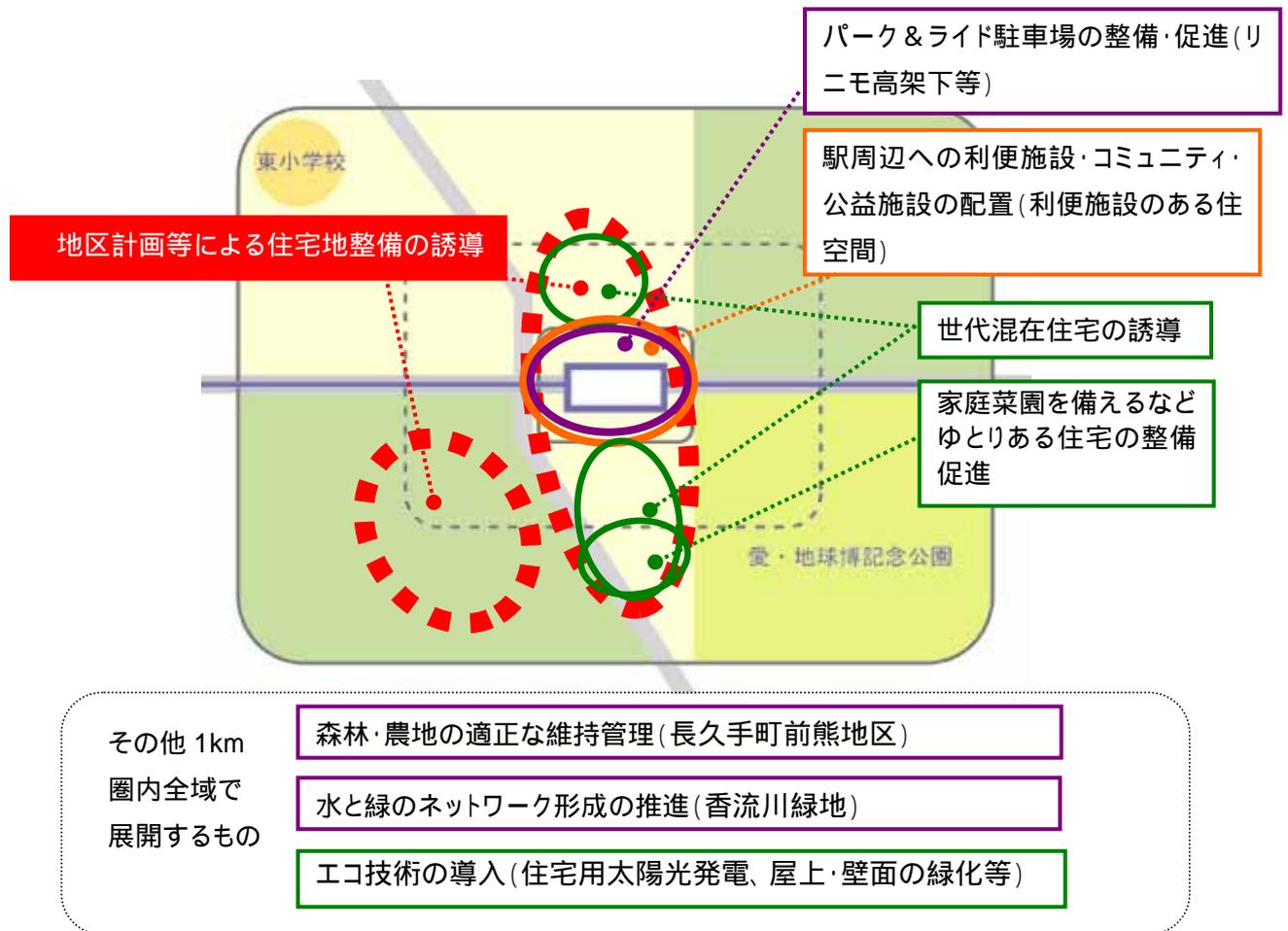
その他

森林・農地の適正な維持管理(長久手町前熊地区) **中期** [400m圏・1km圏]

水と緑のネットワーク形成の推進(香流川緑地) **中期** [駅前地区・400m圏・1km圏]

パーク＆ライド駐車場の整備・促進(リニモ高架下等) **短期** [駅前地区]

市街地整備・導入施策の展開イメージ



主なソフト的取組

- 「エコモビリティライフ」の推進(通勤転換、パーク＆ライド等) 短期
- 田園バレー事業の推進(遊休農地の解消等) 短期
- IT技術を活用した交通情報等の共有(WEBによるリニモビ等) 中期
- フィーダー交通の充実(三ヶ峯・名古屋商科大学方面とのアクセス強化等) 短期

4. 愛・地球博記念公園駅周辺

土地利用の方向性

愛・地球博記念公園や愛知県立大学など既存施設の活用・充実を図るとともに、民間活力の導入等により愛・地球博記念公園内での基本計画に整合する新たな施設や駅前地区での利便施設の誘致等によって集客機能の強化と来訪者の利便性向上を図る。

また、駅の背後圏の利用に向けたパーク＆ライド駐車場を整備・充実し、「エコモビリティライフ」を推進する。

【地域整備の留意点】

- ・愛・地球博記念公園は沿線最大の集客施設であり、今後も整備に合わせて利用者増が見込まれる。また、駅の北側には愛知県立大学があり、車の交通量や歩行者の往来も多い地域である。このため、当駅隣接地や園内の適地において利便施設の設置が望まれる。

【環境保全上の留意点】

- ・森林の適正な維持管理（自然環境保全のシンボルエリア）

【主要施策】

導入施策

商業・交流系

エコ技術の導入(地球市民交流センターにおける自然エネルギーの活用等) **短期**

[駅前地区・400m圏・1km圏]

愛・地球博記念公園の集客力の充実強化(こどものひろば) **中期** [400m圏・1km圏]

愛・地球博記念公園における地球市民交流センターの整備 **短期** [400m圏・1km圏]

その他

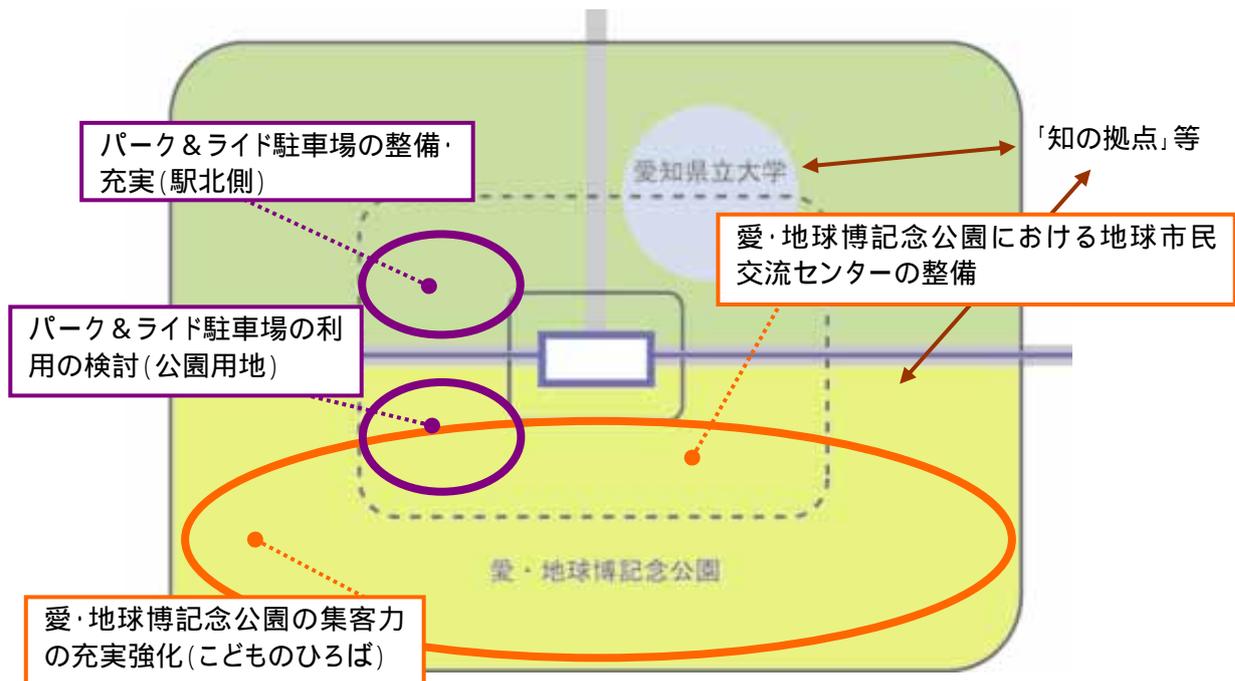
森林の適正な維持管理 **中期** [400m圏・1km圏]

水と緑のネットワーク形成の推進(園内サイクリングコース) **中期** [400m圏・1km圏]

パーク＆ライド駐車場の整備・充実(駅北側) **短期** [駅前地区・400m圏]

パーク＆ライド駐車場の利用の検討(公園用地) **短期** [駅前地区・400m圏]

導入施策の展開イメージ



- その他 1km
圏内全域で
展開するもの
- エコ技術の導入(地球市民交流センター等)
 - 森林の適正な維持管理
 - 水と緑のネットワーク形成の推進(園内サイクリングコース)

主なソフト的取組

- 「エコモビリティライフ」の推進(パーク＆ライド等) **短期**
- 環境学習の促進(もりの学舎) **短期**
- 沿線施設の組織化及び沿線の一体となったイベントの実施 **短期**
- 企業、大学等が参画した交流イベント等の実施(合同学園祭等) **短期**
- 一市町村一國フレンドシップ、万博ボランティアの継承・充実 **短期**
- エコマネー活動・ゼロエミッションの取組 **短期**
- 沿線大学のコンソーシアム形成等による連携強化 **短期**
- 青少年などへの科学技術の啓発活動の推進(サイエンスカフェ) **短期**
- 大学による地域貢献活動の充実(大学による市民講座、生涯学習の提供等) **短期**
- フィーダー交通の充実(瀬戸方面とのアクセス強化) **短期**
- シーズンイベントの開催(夜まつり、春・秋まつり) **短期**
- ホームページ、ミニコミ誌など沿線情報の一体的提供 **短期**

5. 陶磁資料館南駅周辺

土地利用の方向性

大規模な山林の保全に配慮しつつ、先導的中核施設や中部シンクロトン光利用施設（仮称）など各種研究施設の整備を進め、「知の拠点」を中心とした研究開発地区の形成を図る。

愛知県陶磁資料館の魅力アップに向けて、駅からのプロムナードの整備を図る。

【地域整備の留意点】

- ・愛・地球博記念公園と「知の拠点」との周遊を念頭におき、さらに、当駅から愛知県陶磁資料館までのプロムナードを整備することにより、愛知県陶磁資料館の魅力向上にもつながるものと考えられる。

【環境保全上の留意点】

- ・残すべき森林の適正な維持管理（自然環境保全のシンボルエリア）

【主要施策】

面的整備事業等

「知の拠点」の整備（先導的中核施設、中部シンクロトン光利用施設（仮称）等） **短期**
[400m圏]

導入施策

産業（研究開発）系

エコ技術の導入（知の拠点における太陽光発電、雨水再利用、地中熱利用等） **短期**
[400m圏]

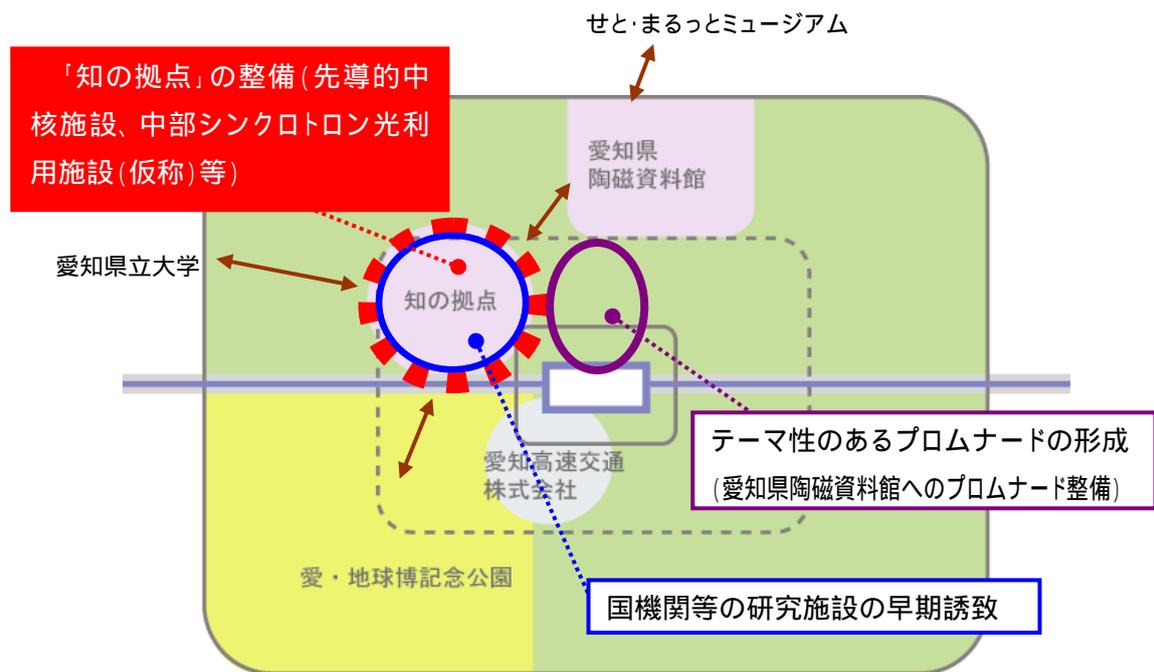
国機関等の研究施設の早期誘致 **中期** [400m圏]

その他

森林の適正な維持管理 **中期** [駅前地区・400m圏・1km圏]

テーマ性のあるプロムナードの形成（愛知県陶磁資料館へのプロムナード整備） **中期**
[駅前地区・400m圏・1km圏]

市街地整備・導入施策の展開イメージ



その他 1km
圏内全域で
展開するもの

エコ技術の導入(知の拠点等)

森林の適正な維持管理

主なソフト的取組

企業、大学等が参画した交流イベント等の実施 短期

沿線大学のコンソーシアム形成等による連携強化(企業と大学との研究交流) 短期

青少年などへの科学技術の啓発活動の推進(子ども向けの見学コースの設置) 短期

せと・まるっとミュージアム構想を踏まえた連携の推進

(瀬戸蔵と愛知県陶磁資料館の回遊等) 短期

シーズンイベントの開催(プロムナードでの瀬戸物市等) 短期

6. 八草駅周辺

土地利用の方向性

市街化区域を中心に市街地整備を実施し、良好で特色ある住宅地の形成を図る。

駅から 1km 圏の北側外縁において新たな住宅団地の整備を図る。

駅前では、交通結節点という八草地区の地区特性を活かした住宅、商業、コミュニティ関連施設等の都市機能を誘導し、パーク&ライド駐車場を整備・充実することなどにより沿線の東の拠点に相応しい市街地形成を図る。

駅東方の猿投グリーンロード北側一帯において産業集積用地整備を進める。

駅背後圏とのネットワークを強化するため、関連道路整備を進める。

【地域整備の留意点】

- ・地域住民の合意形成を図り、土地利用を制限する厳しい暫定的な用途地域から将来の土地利用を考慮した用途地域へ変更する必要がある。
- ・谷という地形的制約と既存集落があるため、まとまった開発用地の確保が課題である。

【住環境形成上の留意点】

- ・既存の生産緑地に配慮した住環境の形成

【環境保全上の留意点】

- ・環境共生型の河川改修（伊保川、割田川、秋合川、立田川）
- ・森林保全とのバランスのとれた開発

【主要施策】

面的整備事業等

土地区画整理事業等の手法による市街地整備の誘導（豊田市八草地区） **中期**

[駅前地区・400m圏・1km圏]

上之山団地（南側）の整備 **短期** [1km圏]

民間企業の研究開発施設など産業集積用地の整備 **中期** [1km圏]

導入施策

住居系

エコ技術の導入（住宅用太陽光発電、屋上・壁面の緑化等） **短期**

[駅前地区・400m圏・1km圏]

家庭菜園を備えるなどゆとりある住宅の整備促進 **中期** [1km圏]

世代混在住宅の誘導 **中期** [駅前地区・400m圏・1km圏]

商業・交流系

駅周辺への利便施設、コミュニティ・公共公益施設の配置 **中期** [駅前地区]

その他

森林・農地の適正な維持管理 **中期** [400m圏・1km圏]

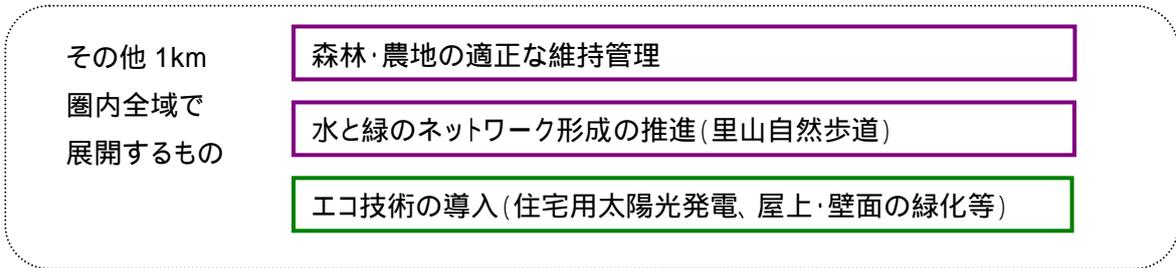
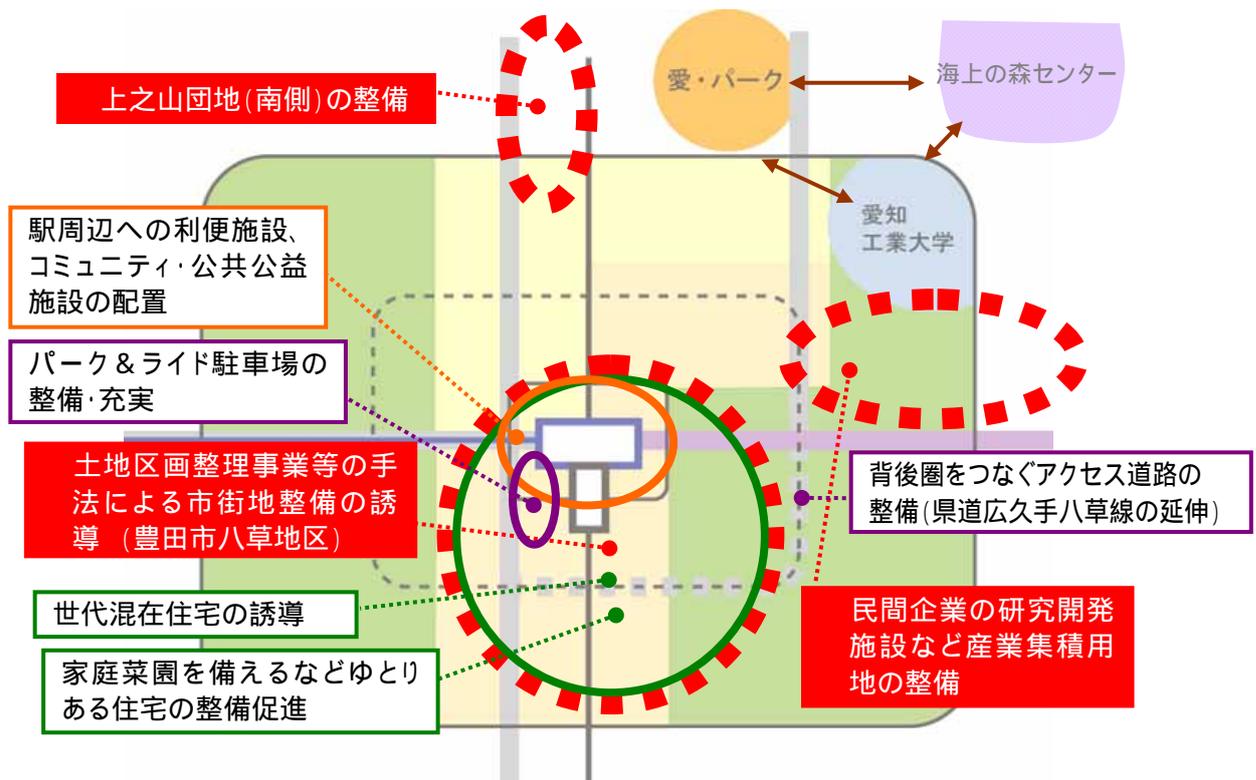
水と緑のネットワーク形成の推進（里山自然歩道） **中期**

[駅前地区・400m圏・1km圏]

パーク&ライド駐車場の整備・充実 **短期** [駅前地区]

背後圏をつなぐアクセス道路の整備（県道広久手八草線の延伸） **中期** [400m圏・1km圏]

市街地整備・導入施策の展開イメージ



主なソフト的取組

- 「エコモビリティライフ」の推進(パーク＆ライド等) 短期
- 瀬戸万博記念公園(愛・パーク)の活用 短期
- 一市町村一国フレンドシップ、万博ボランティアの継承・充実 短期
- IT技術を活用した交通情報等の共有(WEBによるリナビ等) 中期
- 沿線大学のコンソーシアム形成等による連携強化(企業と大学との研究交流) 短期
- 青少年などへの科学技術の啓発活動の推進(愛知工業大学等) 短期
- 大学による地域貢献活動の充実(大学による市民講座、生涯学習の提供等) 短期
- フィーダー交通の充実(上之山方面とのアクセス強化) 短期
- せと・まるっとミュージアム構想を踏まえた連携の推進(海上の森センター、愛・パーク、愛知工業大学との連携) 短期
- 地域づくりのプラットフォーム構築等によるエリアマネジメント 中期
- ホームページ、ミニコミ誌など沿線情報の一体的提供 短期

7. 海上の森

土地利用の方向性

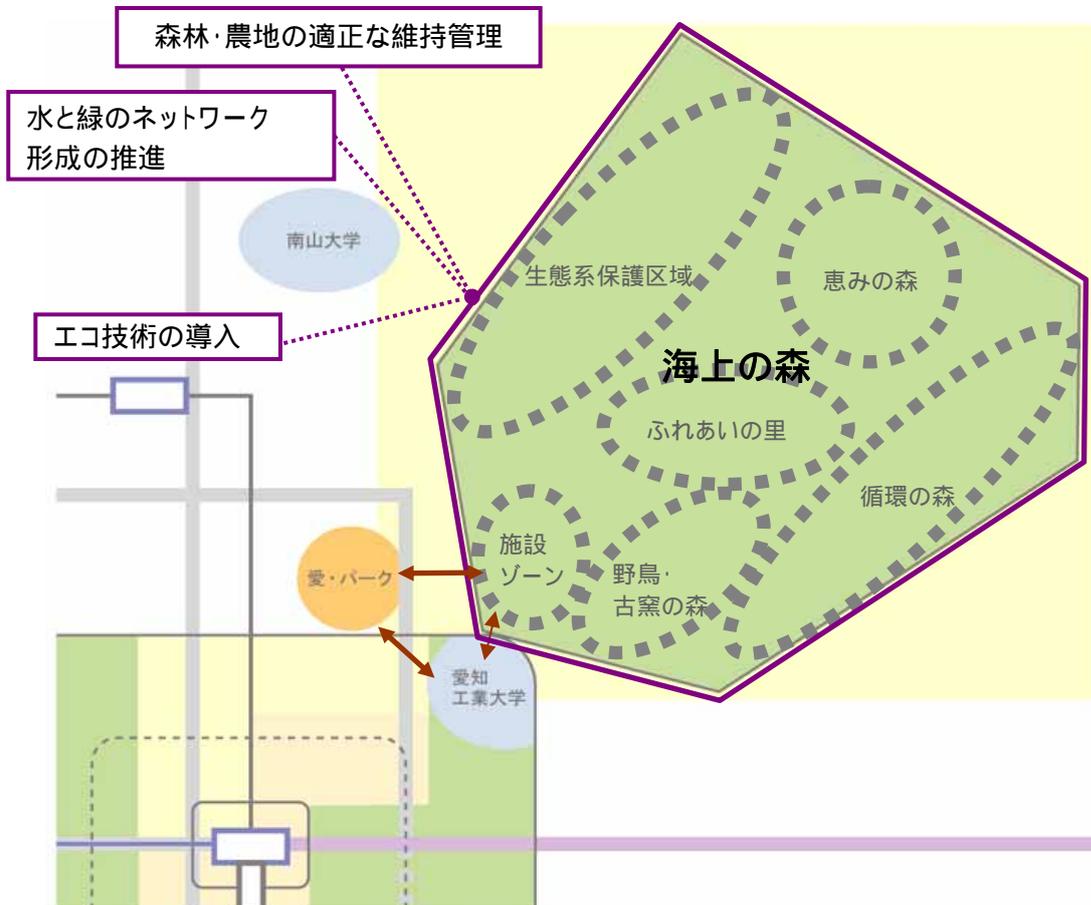
愛知県の「海上の森保全活用計画」をもとに、愛知万博記念の森として、自然環境や森林等の状況を継続的に調査・観察し、自然環境や生態系の変化や変動などに応じた的確な対策、保全策を講じつつ、将来にわたり保全を図る。

施設ゾーンにあるあいち海上の森センターを、自然や海上の森を解説し、展示や資料、情報で学習できる公の施設として運営するとともに、海上の森を活用した、森林や里山に関する学習と交流の機会や場づくりなどを進める。

地域区別の整備方針

地域区分	特徴	整備方針
施設ゾーン 5ha	博覧会の会場地であり、瀬戸愛知県館を改修した本館を中心に海上の森の拠点となる区域	あいち海上の森条例で「あいち海上の森センター」として定めている区域であり、森林や里山に関する展示や情報提供、工作や研修での利用、講座開催等、海上の森の拠点機能を発揮させる施設として管理していく。
ふれあいの里 43ha	里山としてのくらしや景観が残っており、海上の森での取組の核となる区域	県民参加による里山保全活動を主体的に展開していくところとし、雑木林の間伐による植生変化や回復状況、竹林の伐採作業による生育変化の観察等、試験区域を設けながら里山としての維持管理を行っていく。
生態系保護区域 166ha	希少な動植物の生息生育環境を有しており、その環境を維持保全することが特に必要な区域	約128haが県の自然環境保全地域に指定されており、うち約50haが生態系維持のため特に保全が必要な地域として特別地区に指定されているため、自然環境保全地域の保全手法の考え方に沿って、経過観察を行いつつ、必要な除伐や間伐、植生の復元を図る補助的な管理作業等により適正に管理していく。
恵みの森 96ha	高齢化した広葉樹林が多く、緩斜面では、里山として管理・育成できる区域	人工林は間伐などの必要な手入れを行うとともに、針広混交林については被圧木や生育不良となっている樹木を整理していく。広葉樹林は、自然の推移で委ねることを基本とし、必要に応じて更新補助等を行っていく。
循環の森 148ha	人工林が大半であり、手入れの必要な森林が多くを占めており、育成と資源の活用を図る区域	間伐適齢期の森林が多くを占めているため、間伐作業を重点的に実施していく。また、高齢級の森林についても間伐不足が見られるため、不良木などの間伐等を行い、資源の有効利用もあわせ“百年の森”にしていく。
野鳥・古窯の森 52ha	高齢の広葉樹林が多く、古窯も存在していることから、観察・学習等の活動を行う区域	自然の推移に委ねることを基本として、必要に応じて更新補助や植生の復元を図ることなどにより適切に保全管理していく。また、野鳥の保護を図るための手立てや古窯の保全等も行っていく。

導入施策の展開イメージ



【主要施策】

導入施策

- 森林・農地の適正な維持管理(人工林の整備、作業体験農地等) 短期 [全域]
- エコ技術の導入 短期 [全域]
- 水と緑のネットワーク形成の推進(生物多様性のツアーコース等) 短期 [全域]

主なソフト的取組

- 環境学習の促進 (森林や里山での体験による学習と交流の促進、ネットワークづくり、情報発信) 短期
- 沿線施設の組織化及び沿線の一体となったイベントの実施 短期
- 一市町村一國フレンドシップ、万博ボランティアの継承・充実 短期
- エコマネー活動・ゼロエミッションの取組 短期
- せと・まるっとミュージアム構想を踏まえた連携の推進(あいち海上の森センター、愛・パーク、愛知工業大学との連携) 短期
- シーズンイベントの開催 短期

第6章 構想の推進体制

(1) 構想推進に当たっての考え方

リニモ沿線地域づくり構想で打ち出された将来像の実現に向けて、行政、企業、大学、NPO地域住民等、地域の様々な活動主体が連携しつつ、積極的・主体的に取り組んでいく必要がある。特に、面的な整備事業に当たっては、市町の土地利用計画やマスタープランの果たす役割が大きいことから、市町においてその位置付け・策定を進めるとともに、県においても良好な景観形成、フィーダー交通の充実など市町を越えた広域課題の調整に必要な支援を行い、個別事業の円滑な実施につなげていくものとする。

(2) 構想推進の留意点

上記のとおり、構想の推進は、各主体の連携のもと進めていく必要があるが、特に、以下の点に留意する必要がある。

- ・ 構想では、環境と共生したまちづくりを目標としているが、開発に伴う環境負荷の低減を図り、スムーズな事業進行を行うには、事業の優先順位やスケジュールの調整、モニタリングが重要であること
- ・ 事業実施に当たっては、民間事業者によるまちづくりの誘導が必要であるが、そのためには、事業者への沿線の情報提供等の窓口を設けるなど、迅速な対応を行う必要があること
- ・ 景観形成、地域情報の共有化、エリアマネジメント等、当地域の独自性のあるまちづくりのためには、市町を越えた連携が必要になること

(3) リニモ沿線地域づくり構想の推進組織の設置

以上から、リニモ沿線地域づくり構想の推進を一元的に行う組織の設置が望ましい。

推進組織においては、まちづくり事業の進捗状況の調整・モニタリングを行うとともに、構想の地域住民等への啓発や、沿線のまちづくりに係る民間事業者への情報提供などを行うものとする。

こうした中で、主要施策や駅ごとの具体的なまちづくりの進め方はもとより、沿線大学の連携強化方策（例えば、コンソーシアム形成）、沿線一体となった情報共有・情報発信方策（プラットフォーム構築）、コミュニティバスなど駅からのフィーダー交通の調整、地域内外の回遊性を高めるための観光を機軸とした施設連携など、ソフト的なまちづくり方策についても検討・調整していくことが望まれる。

(4) 関連組織との連携

沿線には、すでに、リニモ活性化などを目指した NPO が活動しているほか、沿線大学等においてもまちづくりを目指した様々な活動が見られる。

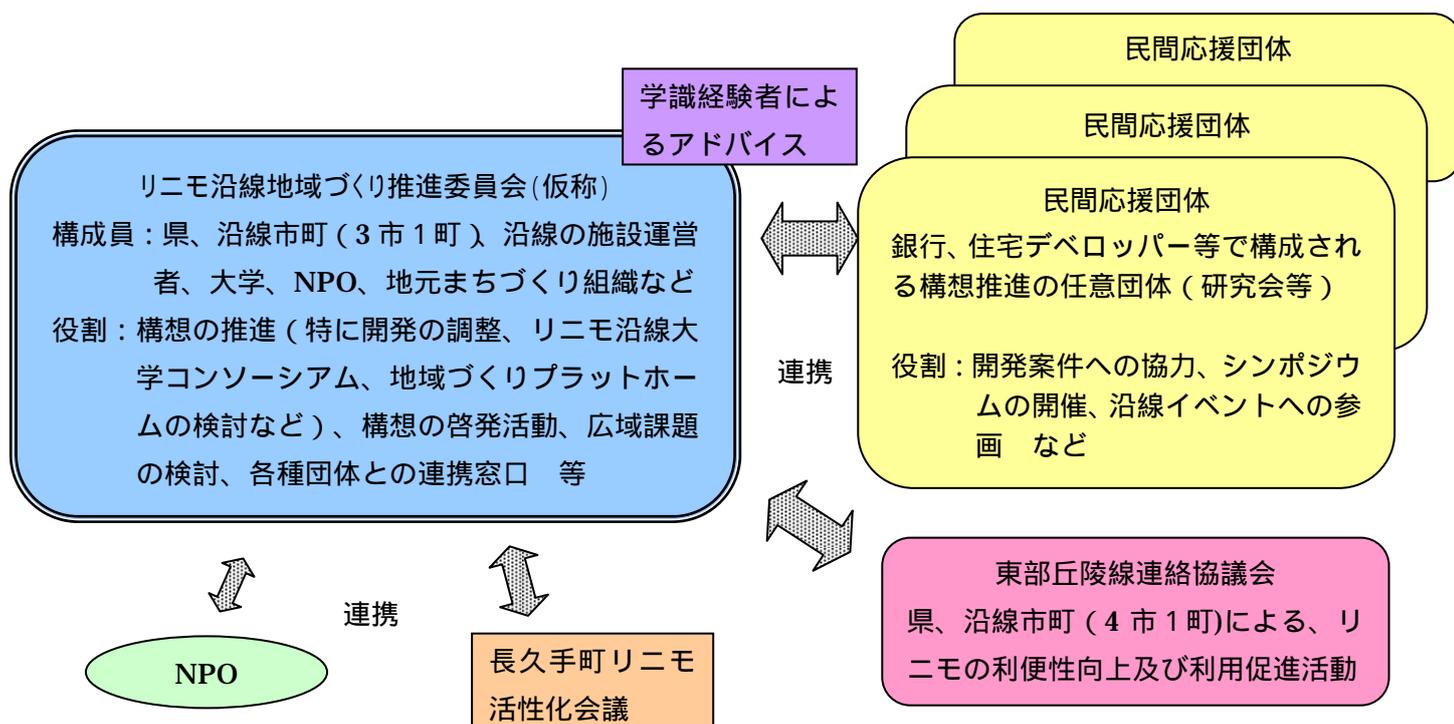
県及び沿線市町により、リニモの利便性向上、利用促進等を主な活動内容とした「東部丘陵線連絡協議会」が設置されている。

また、沿線市町においても、地域の各種団体から構成されるリニモ活性化の推進組織の設置、地元まちづくり組織等もみられる。

さらには、リニモ沿線の地域づくりには企業の果たす役割も大きいことから、住宅事業者等も含めた民間における協力体制の構築も期待される。

このような、様々な組織とも連携して地域づくりを進めていく必要がある。

推進体制のイメージ



資料編

(1) 構想策定委員会設置要綱

リニモ沿線地域づくり構想策定委員会設置要綱

(目的)

第1条 リニモ沿線地域づくり構想策定委員会（以下「策定委員会」という。）は、愛知県、瀬戸市、豊田市、日進市及び長久手町が共同で策定する「リニモ沿線地域づくり構想」の策定作業の一環として、リニモ沿線の地域づくりに関する助言を有識者から幅広く得ることを目的として設置する。

(構成)

第2条 策定委員会は、別表に掲げる委員により構成する。

2 委員は、委員が指名する者を代理として出席させることができる。

(組織)

第3条 策定委員会には委員長及び委員長代理を置く。

2 委員長は委員の互選により定める。

3 委員長代理は委員長が指名する。

4 委員長は策定委員会を総括し、策定委員会の会議の進行にあたる。

5 委員長代理は、委員長を補佐し、委員長が欠けたときはその職務を代理する。

6 委員長は必要に応じ、委員以外の者の参加を求めることができる。

(オブザーバー)

第4条 策定委員会にオブザーバーを置くことができる。

2 オブザーバーは、策定委員会の目的を達成するための専門的な知識又は経験を有する者とする。

3 オブザーバーは、会長の求めに応じて策定委員会に出席し、専門的見地から審議に関する助言又は協力を行うものとする。

(会議)

第5条 策定委員会は委員長が招集する。

(庶務)

第6条 策定委員会に関する庶務は、リニモ沿線地域づくり調査研究会（事務局 愛知県地域振興部地域政策課）において処理する。

(その他)

第7条 この要綱に定めるもののほか、策定委員会の運営に関し必要な事項は、別に定める。

(附則)

この要綱は、平成20年7月15日から施行し、平成21年3月31日をもって廃止する。

別 表

リニモ沿線地域づくり構想策定委員会

(五十音順・敬称略)

氏 名	職 名
伊豆原浩二	名古屋産業大学環境情報ビジネス学部教授
伊藤典男	瀬戸市副市長
小沢 裕	独立行政法人都市再生機構中部支社都市再生企画部長
加藤恒太郎	豊田市副市長
加藤具己	長久手町副町長
木村光伸	名古屋学院大学人間健康学部教授
後藤澄江	日本福祉大学社会福祉学部教授
島田善規	リニモねっと代表
瀬口哲夫	名古屋市立大学大学院芸術工学研究科教授
田中民雄	日進市副市長
土居友二 (前 市野晴夫)	豊田商工会議所専務理事
萩野忠克	あいち尾東農業協同組合代表理事組合長
的井宏樹	愛知県地域振興部長
水野賢二	長久手町土地区画整理組合協議会会長
安川 博	愛知県立大学地域連携センター長

委員長 委員長代理

オブザーバー

氏 名	職 名
池田 全	愛知高速交通株式会社代表取締役専務

(2) 策定の経緯

平成 19 年 5 月 7 日	平成 19 年度第 1 回リニモ沿線地域づくり調査研究会
10 月 4 日	沿線施設ヒアリング実施（～11 月 1 日：22 施設）
12 月 19 日	有識者ヒアリング実施（～平成 20 年 3 月 7 日：13 人）
12 月 25 日	平成 19 年度第 2 回リニモ沿線地域づくり調査研究会
平成 20 年 3 月 26 日	平成 19 年度第 3 回リニモ沿線地域づくり調査研究会
5 月 1 日	平成 20 年度第 1 回リニモ沿線地域づくり調査研究会
7 月 15 日	第 1 回リニモ沿線地域づくり構想策定委員会（於：ウィルあいち） ・リニモ沿線地域づくり構想の策定方針について検討 ・リニモ沿線地域の現況と将来像について検討
9 月 12 日	平成 20 年度第 2 回リニモ沿線地域づくり調査研究会
10 月 10 日	第 2 回リニモ沿線地域づくり構想策定委員会（於：愛知県立大学） ・リニモ沿線地域現地視察 ・リニモ沿線地域づくり構想の骨子について検討
平成 21 年 1 月 13 日	平成 20 年度第 3 回リニモ沿線地域づくり調査研究会
1 月 26 日	第 3 回リニモ沿線地域づくり構想策定委員会（於：メルパルク名古屋） ・リニモ沿線地域づくり構想（素案）について検討
2 月 2 日	構想素案に対しパブリックコメントを実施（～3 月 2 日）
3 月 12 日	平成 20 年度第 4 回リニモ沿線地域づくり調査研究会
3 月 25 日	第 4 回リニモ沿線地域づくり構想策定委員会（於：ウィルあいち） ・リニモ沿線地域づくり構想（案）について

リニモ沿線地域づくり構想

平成 21 年 3 月発行

愛知県地域振興部地域政策課 〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目 1 番 2 号 電話 052-954-6095 ホームページ http://www.pref.aichi.jp/
瀬戸市行政経営部経営課 〒489-8701 瀬戸市追分町 64 番地の 1 電話 0561-88-2521 ホームページ http://www.city.seto.aichi.jp/
豊田市総合企画部企画課 〒471-8501 豊田市西町 3 丁目 60 番地 電話 0565-34-6602 ホームページ http://www.city.toyota.aichi.jp/
日進市市長公室政策推進課 〒470-0192 日進市蟹甲町池下 268 番地 電話 0561-73-3176 ホームページ http://www.city.nisshin.lg.jp/
長久手町まちづくり推進部企画政策課 〒480-1196 愛知郡長久手町大字岩作字城の内 60 番地 1 電話 0561-63-1111 (代) ホームページ http://www.town.nagakute.aichi.jp/